

深名線 沼牛駅 開業 87 周年

祝 お改修 おかえり沼牛駅 披露目会



平成28年11月6日 日曜 10時より

池北線上利別駅の想い出を、深名線沼牛駅舎へ受け継ぎ残す
北海道木造駅舎保存プロジェクト クラウドファンディング達成記念

おかえり沼牛駅改修御披露目式

お披露目会次第

- 一〇時から 開会、記念式典
- 一〇時一五分頃 駅舎一般公開
- 一〇時三〇分頃 各種企画、販売等
- 一五時 閉会

催し内容

式典、駅舎一般公開、幌加内町産手打ちそば販売、特製沼牛駅弁販売、特製記念品販売、パネル展示等予定

沼牛駅は、昭和四年十一月八日開業、平成七年の深名線廃止とともに駅としての役目を終えました。この度、本プロジェクトを通じて、全国各地からのご支援のもと、貴重な歴史的木造駅舎の保存維持のため改修が実施され、完了の御披露目を行う運びとなりました。

場所 北海道雨意郡幌加内町字下幌加内
実施者 おかえり沼牛駅実行委員会

<https://www.facebook.com/okaeri.numaushieki>

地域の歴史を物語る 歴史的木造建造物を残したい！

北海道の歴史を語る上において、「鉄道」の存在は欠かすことのできないものです。ここ幌加内町に鉄道「深名線」が開通したのは、大正から昭和初期にかけての出来事。特に、北海道有数の豪雪地帯であることから、開通以降「深名線」が担ってきた役割や重要性は、非常に高かったのではないのでしょうか。平成七年には、長きにわたり人やモノを運んできた「深名線」も、「鉄道」から「バス」へとバトンタッチをしました。その時から、鉄道・深名線は「過去の歴史の一つ」となりましたが、約二十年が経過したいまもなお、「鉄道・深名線」の面影を求めて、全国各地から多くの人々が訪れています。

昭和四年の開業当時の面影を残してきた『沼牛駅』。いまはレールもなく、自動車も走ってこない駅ですが、それでも多くの人々を惹きつけるのは、趣味的な鉄道の魅力だけではなく、開業から七十七年間この地に佇み、歴史の移り変わりを常に目撃してきた『歴史的建造物』だからこそではないでしょうか。そんな沼牛駅を少しでも長く残したい、その思いから、昨年春より保存活動がスタートしました。



現役時の沼牛駅 1995.7.31 山田谷 政幸様 撮影

上利別駅の歴史を、引き継ぎ残したい

道東地方の足寄町にかつてあった「上利別（かみとしべつ）駅」は、明治四十三年開業、昭和十年に駅舎が建て替えられ、平成十八年に鉄道が廃止されて以降も、昔ながらの木造駅舎の佇まいで、地区の方々大切にされながら現存していた旧駅舎でした。今年四月、偶然『旧ふるさと銀河線（池北線）、上利別駅解体』というニュースを知り、「同じ北海道内に残る木造駅舎。なにかの形で少しでも歴史の一部を残せないか」と思い立ち、「北海道に現存する木造駅舎をより良い形で保存維持するために、上利別駅舎の古材の一部を再利用し、沼牛駅の修繕を」とのこと、この度の『北海道木造駅舎保存プロジェクト』を立ち上げました。これまですべて自分たちの手で行ってきましたが、限界がある…と考える、次への動きがスタートしました。



現役時の上利別駅 天野 速人様 撮影

全世界からの支援で沼牛駅改修へ

将来、沼牛駅を少しでも長く保存していくために、より多くの人に関心を持ってもらい、みんなで支えていくには…と考える、『クラウドファンディング』を活用することとしました。これは、インターネットを介した支援の呼びかけ手法で、近年では北海道で活躍した七一一系電車や寝台特急北斗星の車両を保存するなど、「北海道の鉄道遺産保存」への新たな動きへと発展してきています。

クラウドファンディングは、六月から約二ヶ月間実施、合計二百三十九万円（支援者百七十二名）が全国や全世界から集まったほか、いまも個人や企業様から多くの支援もお寄せいただいています。

そして九月からプロの手による改修工事を開始し、外壁などは有志の皆さんで塗るなどしながら、駅開業日である十一月八日とほぼ同日時期、十一月六日の改修御披露目会を迎えることとなりました。

沼牛駅御披露目会 企画詳細情報

この度の御披露目会では、駅舎一般公開のほか、皆様へのお礼の気持ちを込めて、ささやかではありますがさまざまな企画を予定しております。

そば面積日本一の幌加内を堪能していただきたく、そば打ち最高段位（全麵協五段位）の坂本勝之による手打ちそば提供販売。また、数量限定の「特製沼牛駅弁」販売、その他にも幌加内や沼牛駅、深名線に関する特産品なども販売予定で、売上げの一部は今後の沼牛駅修繕のために活用させていただきます。

昭和四年十一月、ここに鉄道が開通した時の苦労や喜びを振り返るべく、本年十一月六日にぜひ沼牛駅へお越しください。

